



日本の滝百選



鹿児島県始良郡加治木町

広報

かじき

人口・世帯の動き
(平成12年4月1日現在)

総人口23,222人(△271)
 男 10,711人(△136)
 女 12,511人(△135)
 世帯数 8,947 (△ 77)
 出生 14人 死亡 26人
 転入276人 転出535人
 ※() 内は前月との比較※

KAJIKI RDP II

2000

KAJIKI RDP II



KAJIKI RDP II

2000

36 → 18A

KAJIKI RDP II

「満開の桜を見に多くの人々が訪れた高岡公園」

平成12年

4

月号

今月のページ

議会報告・施政方針	2~11
爆弾見つかる・加音フェスタ・芸能大会	12~16
シルバー人材センター・まちの出来事	17~21
禁煙宣言・人事異動・グレタの偶作	22~24
がんばっています・椋鳩十・お知らせ	25~27
介護保険	28~30

議会報告

第一回定例会

平成十二年度一般会計予算

九十三億七千九百万円

(前年度当初予算比較)

(19.7%) 十五億三千三百万円の増額予算

平成十一年度一般会計補正予算

九千六百九十一万八千円を追加

総額

八十四億四百三十一万五千円に

平成十二年度第一回町議会定例会は、三月七日から三十日までの二十四日間の会期で開催されました。さる三月七日に発見された、不発弾処理に関する不発弾防護壁設置撤去に係わる工事費など一千七十九万二千円を追加した平成十一年度一般会計や、水道事業会計補正予算、簡易水道事業などの五つの特別会計補正予算、平成十二年度一般会計当初予算などを原案可決。また、財団法人加治木町開発公社の経営状況報告など報告二件、四月から始まる介護保険の保険給付を円滑に処理するため条例で定めるべき事項について制定する加治木町介護保険基金の設置・管理及び処分に関する条例制定の件を一部修正して可決するなど議案四十三件、発議四件を審議可決。平成十二年度畜産政策・価格に関する陳情などを採択しました。

平成12年度主要事業

予 算 額

■小山田農産加工センター建設の「むらづくり整備事業」に	46,500千円
■林道高井田線整備の「ふるさと林道緊急整備事業」に	84,900千円
■県道負担金の「伊集院・蒲生・溝辺線改良事業」に	78,500千円
■西別府線の「災害防除事業費」に	83,000千円
■垂之口川の「排水施設整備事業費」に	40,000千円
■新道、蔵王住宅の「公営住宅建替事業」に	327,125千円
■小山田毛上地区の「ふるさとづくり事業費」に	555,593千円

総合振興計画の後期計画を推進

整理・合理化と経費の節減を目指す

行政改革と財政の健全化に努める

川野町長は、第一回町議会定例会で、平成十二年度の八つの重点施策や①「人・もの・技術の交流するまちづくり」②「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」③「安心して住める健康なまちづくり」④「自然と調和する快適なまちづくり」⑤「個性あふれる産業振興のまちづくり」⑥「行政の推進」の六つの大綱を織り込んだ施政方針を発表しました。

施政方針 (概略)

今年(西暦二千年)という記念すべき節目の年であり、二十世紀最後の年となりました。本町が二十一世紀に向けて発展していくためには、「新しいふるさとを創造する交流拠点加治木」

を指し、加治木町総合振興計画の後期計画に私の政策も盛り込みながら着実な推進を図ってまいります。

平成十二年度予算編成に当たっては年間予算編成を原則とし

歳出面においては、既存事務事業について、従前にも増して徹底した整理・合理化と経費の節減に努めます。

歳入面において、町税収入の確保、国・県支出金や交付税措

置のある地方債の活用、受益者負担の適正化等による財源の確保等を図り、地方分権を推進するために、行財政基盤を強化するという観点から、本腰を入れた行政改革と財政の健全化に努め、社会経済情勢の変化に対応した行政需要に対応するなど、重点的かつ効率的な施策の展開をまいります。

第一回定例会で施政方針を述べる川野町長



8つの重点施策を積極的に展開

私は、町政推進に当たり、二万三千有余の町民の皆様が、毎日の生活を安全で、安心して送ることができることを念頭に、生活環境づくり、社会づくり、まちづくりに以下の八つの項目を平成十二年度重点施策として取り組んでまいります。

- ★一つ目は、公営住宅再生マスタープランに基づく下新道住宅と蔵王住宅の建替事業及びふるさとづくり事業の推進
- ★二つ目は、港湾整備事業の推進
- ★三つ目は、町内道路網及びびわ湖地区排水路の整備

- ★四つ目は、介護保険制度をはじめとする保健・福祉の充実並びに環境衛生の推進
- (加治木町シルバー人材センターの運営事業)

大綱の 第一点

「人・もの・技術の交流するまちづくり」

★五つ目は、教育・文化の振興（小・中学校インターネット等の導入）

★六つ目は、農林業・商工業の振興（小山田地区農産物処理加工施設）

★七つ目は、簡易水道事業の推進（中野、嶽、ひなば地区）

★八つ目は、町民の声を町政に生かすこと（仮称・町づくり委員会等の発足）
それでは、平成十二年度の予

算編成につきまして、具体的施策を申し上げます。

■地方自治の確立
町政は、本来そこに住む住民のためのものであり、主権在民の精神に基づき、住民の意向を

反映させながら議会と共にまちづくりに取り組んで参ります。

地方分権一括法の施行や事務権限の委譲により、町の主体性や行政推進のあり方が今まで以上に重要であり、私も先頭に立

ち、職員共々頑張りますので、今後なお一層のご支援、ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

▼国道十号パイパス

十四年に加治木ジャンクションまで供用開始

▼中核スポーツ施設

残地は処分

■加治木港港湾整備事業

県の事情により着工が遅延しておりますので、早期着工・完成に向け、努力して参ります。

■国道十号パイパスの建設促進

平成十四年には加治木ジャンクションまで供用開始の予定であり、早期完成と一日も早い供用開始に向けて努力して参ります。

■県スポーツ中核施設の誘致

今後とも積極的に誘致活動を継続し、運動公園用地としての最小限の用地を確保し、残地については財政面も考慮して処分の方向で対応して参ります。



整備が遅れている加治木港



千鳥橋まで一部開通した10号バイパス



毎年「ぎやかな初市」

大綱の第二点

「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」

今年度の予定

6月..羽田健太郎



10月..和泉流狂言



11月..八代 亜紀



▼ ホールの利用も定着

▼ 地域文化の振興と発展を

■文化会館・加音ホール

オープン以来四年目を迎えた本会館は多くの方に利用され、平成十一年度も第三・四半期の数字ではありますが、ホールの稼働率は大ホールが約五十五%、小ホールが約六十七%で、ホールの利用も定着しております。今後とも、自主文化事業や住民参加型事業も創意工夫を加え、継続しながら地域文化の振興と発展に努めて参ります。



文化の殿堂加音ホール

▼ 伝統と文化を継承し

教育環境の充実に努める

▼ スクールカウンセラーを派遣

■学校教育・生涯教育

今日まで培われてきた「伝統と文化」を継承しつつ、自ら学習活動や文化活動・スポーツ活

動を展開して、学ぶ意欲と社会の変化に対応できる教育環境の充実に努めて参ります。

■青少年の問題

本町の豊かな自然、文化遺産、民俗芸能等地域の特色を生かし、学校、家庭、地域社会との連携を図りながら、心身共にたくましく生きる子供たちの育成や生涯をとおして学び続ける町民の育成をめざして取り組んで参ります。

■学校教育

教育環境の整備充実に努め、就園奨励費や就学援助費、育英奨学金などに配慮し、教職員の資質の向上及び児童生徒の基礎学力・基礎体力の向上に努めて参ります。

各小・中学校へのスクールカウンセラー派遣事業や加治木中学校への「心の教室相談員」の配置事業を継続して実施し、不登校児童生徒の解消、いじめ・校内暴力等の防止など生徒指導の充実に図って参ります。

■社会教育

生きがいのある生活と豊かな環境を求めて明日を拓くために「学ぶよろこび」、「生かすよ

ろこび」、「助け合うよろこび」を掲げ、生涯にわたり自発的な意思に基づき継続的に学習できる環境を総合的に整えて参ります。

■青少年健全育成

異年齢集団による体験学習や社会参加活動を促すとともに、心身ともにたくましい思いやりのある青少年の育成に努めて参ります。

あいさつ運動の推進や公民館活動及び自治会活動の充実と活性化及び社会教育団体の育成に努めて参ります。四年目を迎える文化交流週間の充実や県民文化祭の開催、加治木町青少年劇場を実施し、芸術文化に親しむ機会の拡充に努めて参ります。

■文化財関係

くも合戦の記録保存や竜門司坂等を活用したソフト事業の展開により、郷土の文化財愛護思想の啓発を進めるとともに、埋蔵文化財と開発の調整を図りながら文化財の保存に努めます。

日曜開館を 実施

■図書館・郷土館の運営

生涯学習社会の今日、町民のニーズの多様化に答えるべく各種資料等の収集・整理・保存に努める一方、学習室との一体化により、日曜開館を実施し、住民の利便性の向上に努めて参ります。



4月3日オープンした学習室

■開館十周年目の椋鳩十文学記念館運営

引き続き「親子二十分間読書運動」の継承、普及に努め顕彰に努めて参ります。



椋記念館

■社会体育

町民の健康維持と体力の向上を図り、温もりと活力に満ちた明るく豊かな地域づくりのためにスポーツ、レクリエーション活動を普及奨励します。町民が気軽に楽しめるコミュニティースポーツを普及する一方、町体育協会やスポーツ少年団等の組織の育成強化を図り、町民の健康維持と生涯スポーツの推進に努めて参ります。

■学校保健

近年、児童生徒をとりまく生活環境は著しく変化してきているので、引き続き各検診等を実施し、予防対策に努めて参ります。



お年寄りたちも元気にプレーする



ニュースポーツで楽しむ

児童生徒の 基礎運動能力の 推進

■学校体育

体力・運動能力調査を実施し、児童生徒の基礎運動能力の向上と推進を図って参ります。また、水難事故防止、交通事故防止のための安全対策等も学校との連携を密にし、適切な指導を進めて参ります。



共同調理場

■学校給食

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かで安全な給食を供給し、衛生面に細心の配慮をしながら、給食運搬車、調理用品等の更新により円滑な事業運営に努めて参ります。

完成は十三年 度に変更

■加治木龍門陶芸健康の里整備事業

完了年度を平成十三年度に変更し、十二年度は体験館、多目的広場、遊水施設の工事を実施し、十三年度に屋内ゲートボール場、外溝工事をいたします。

今後、体験館の規模を含め全体計画を再度見直し、地域の活性化、生涯学習施設、健康づくりの施設とし整備を図って参ります。



13年度完成に向けて工事が進む加治木龍門陶芸健康の里現場

の網大
第三点

「安心して住める健康なまちづくり」

▽エンゼルプランを策定

▽永原保育所は委託で運営

■児童・母子福祉対策

事業推進の柱となるエンゼルプランを策定し、児童の健全育成の指針として計画的な事業推進を図ってまいります。

■児童・母子福祉の増進

保育所運営の充実強化、児童手当の国の施策に伴う拡充、児童扶養手当等諸手当の支給事業、ひとり親家庭医療費、乳幼児医療費助成事業、子供のショートステイ事業、母子生活支援施設運営事業にも引き続き取り組んでまいります。

■放課後児童対策事業

今後も継続し、児童の健全育成に資して参ります。

■農山村保育所の永原保育所

補助制度の廃止に伴い、総合的に検討した結果、地域の実情

等も考慮して当分の間、条例の整備を図り、委託により運営を続けて参ります。

在宅介護の

中核施設に

在宅介護支援センター

■高齢者の保健福祉対策

本年四月からの介護保険制度の導入を契機とし、介護認定を受けられた方々は介護保険制度の中で、それ以外の方々は加治木町老人福祉計画の中で「寝たきり予防対策」や「高齢者の生きがい対策」等の施策を推進して参ります。

町福祉センターの中に基幹型

在宅介護支援センターを四月から開設し、在宅介護の中核施設として在宅の要介護老人や介護

者の在宅介護に関する総合的相談や保健福祉サービス等の事業を推進して参ります。



在宅介護の中核施設 支援センター

■母子保健

「子供を安心して産み・健やかに育てることが出来る町づくり」を目指し、保健センターを母子保健の拠点施設として、母親の子育て支援をして参ります。

■成人保健

各種健康診査や健康教育並びに健康相談等の事業を推進し、特に、食生活や運動等の生活習慣改善事業に取り組み、高血圧症、糖尿病やガン等の生活習慣病の予防・寝たきり予防に積極的に努めて参ります。

■予防関係

乳幼児、児童、生徒への感染症対策として予防接種事業を医師会等と緊密な連携を図り、乳幼児については個別接種、児童・生徒については集団接種を実施して疾病の予防に努めて参ります。

■献血対策

献血に対する正しい知識の啓発に努めて献血思想の普及に努めて参ります。

■結核予防対策

各種関係団体と一体となって町民一人ひとりが結核を正しく再認識をし、予防対策が講じられるように啓発活動に努めて参ります。

■生活排水対策

「加治木町生活排水対策推進計画」を踏まえ、施設については、合併処理浄化槽の設置整備事業を継続し、公共用水域の水質保全に努めて参ります。



検診のことなら保健センターに

の網大 第四点

「自然と調和する快適なまちづくり」

■廃棄物処理対策

平成十年度から本格実施している「資源ごみ分別収集」を推進し、排出される廃棄物に対して適正な処理をして参ります。新たな取組みとして、ごみの減量化を図るべく、塵芥処理手数を指定ごみ袋に上乘せし、排出量に応じての手数料の徴収を行うことといたします。

■塵芥・し尿・火葬処理

始良郡西部衛生処理組合で共同処理を実施し、効率的運営を

目指して参ります。

小山田本道原にある一般廃棄物最終処分場の一部土地についての使用貸借契約期間満了が迫っている事から、閉鎖に向けた準備調査を行って参ります。

■水道未普及地区対策

簡易水道施設整備の方針に基づき、事業を計画的に進めて参りますが、施設整備がなされるまでの間は既存施設を用いながら、各地区への技術、財政両面での支援を行い、安定した生活

用水の確保に努めて参ります。

■騒音・大気汚染・水質汚濁等

県との連携をとり、良好な生活環境保持のため努めて参ります。また、フロンガスの回収を今年度も実施して参ります。

▼都市計画マスタープランを策定

▼新道住宅を建替

▼垂之口川上流へ整備

快適なまちづくり推進のために、広域幹線道路並びに町内の幹線道路網の整備、改良補修により、安全で円滑な道路交通を確保し、公営住宅の質の向上、防災、環境保全、公園緑地等の各種施策の推進に努力して参ります。

■住宅

した基礎調査を基に、住民参加型で、多くの住民の方の意見を反映し、町全体の将来像やまちづくりの基本方針として「加治木町都市計画マスタープラン」を策定いたします。

替事業の設計及び地質調査を実施いたします。



建替えられる新道住宅

■住民の生活に密着した町道

緊急度の高い個所から改修改良、補修・側溝清掃等を計画的に実施し、生活道路は申請に基づき対応して参ります。中野線の局部改良の設計委託料等の事業も予定しております。



整備される垂之口川

■排水事業

垂之口川は引き続き上流への整備を継続いたします。小陣地区は地域住民の理解と協力を得て補正予算で対応し事業に着工する予定であります。その外、豪雨のたびに冠水する地域がありますが、今後も計画的に事業を進めて参ります。

隼人・加治木 線の登坂車線 300m継続

■県道及び県管理河川の整備

隼人・加治木線の登坂車線の整備は昨年引き続き300m継続され、伊集院・蒲生・溝辺線につきましても継続して実施さ

■都市計画

平成十一年度の実施いたしました

れます。河川では各河川において寄洲除去が昨年度に引き続き実施されます。

■**防災**
本年度から道路防災防除事業として西別府線、特殊地下壕対

策事業として迫線の防災事業に着手いたします。また、辺川下二地区の急傾斜地崩壊対策事業

は引き続き実施し、平成十二年度完了の予定でございます。崖地等に近接する危険住宅移

転事業も引き続き実施して参ります。

大綱の第五点

「個性あふれる産業振興のまちづくり」

▼ 農産物処理加工施設を建設

▼ 農業振興整備計画を策定

▼ 小山田の春日外三地区の農道舗装事業を実施

■ 新農村振興運動

小山田地区の地域農業生産グループによる特産品の開発が実を結び、永年の夢でありました農産物処理加工施設を建設いたします。

高付加価値型農業の定着により、農業所得の向上、生産拡大を図り、地域営農システムの構築を目指します。

■ 農業振興整備計画

農業地域を保全し、農業に関する公共投資その他農業の近代化のための必要な条件を備えた施策を計画的に推進し、農業振興整備計画を策定します。

■ 畜産農家の経営安定

相互協力と和牛生産技術向上を目指し、あわせて畜産の振興を図って参ります。

■ 農業農村の振興

農家の規模拡大や農地の有効

利用を図り、農業の中核的担い手の育成、経営規模拡大、農地保有合理化、地域農業の振興、農業構造の改善を進めて参ります。

上、農業経営の安定化、生産環境の整備のため、土地改良事業を実施して参ります。

■ 県施工の事業

十年度から施工しておりますふるさと農道緊急整備事業道風地区及び十一年度から施工の農免農道整備事業・小山田地区は辺川・小山田地域の幹線農道として、地域住民の理解、協力を得ながら事業を推進して参ります。

■ 楠原地区の畑地帯農道網整備事業

農道の舗装工事を施工して参ります。

■ 県単独農業農村整備事業

十二年度は小山田の春日地区外三地区の農道舗装事業を実施して参ります。

■ 国土保全・景観の提供

公共的機能を持つ農業農村整備事業の推進として農産物の生産条件の改善、輸送力の向



機械を使って近代的農業



毎年ぎわうキャロットまつり

農家には高齢化や担い手不足といった現実の問題があります。が、経営指導や中核農家の育成を図り、本町に適した望ましい農業構造並びに農業経営体の育成、確保にむけた取組みを推進して参ります。

安心・安全な農畜産物の供給を目的とし、地域社会と調和した環境保全型農業の推進を図ります。

大綱の第六点 行政財政の推進

■町単独土地改良事業
小規模地域における農道・用排水路等について地域の申請に基づき実施して参ります。



歩道整備が終わった西別府線

■海岸保全施設整備事業
引き続き木田振興地区の高潮対策事業を実施して参ります。

■林業の振興

山村の振興、林業の再建を図り、治山事業の計画的な整備、除伐・間伐の推進や山林の環境整備に努めて参ります。

■林道高井田線

平成十一年度に引き続き関係者のご理解をいただき、拡幅改良工事を進めて参ります。

■さえずりの森の運営

シルバー人材センターを有効的に活用し、施設の持つ多面的な要素を最大限活かし、皆様に愛され、親しまれる施設として運営して参ります。



拡幅工事が進められる高井田林道



地元物産の販売ルート

■水産業の振興

流域や沿岸の環境美化に努めながら、つくり育てる漁業の振興を図るために、魚介類等の放流事業とあわせて漁礁の設置事業を継続して参ります。

■商工業の振興

毎年行われる滝まつりや夏まつり、初市などのイベントに多くの住民が参画のもと、これらのイベントを盛り上げ、各種団体と連携をとりながら町の活性化に努力して参ります。
町商工会が行う商品券の発行は、販売枚数が伸びており、町内買物運動を更に推進し、各商店が個性のある商店づくりに取り組み、地域ぐるみの独自の企画やイベントの事業を商工会等関係機関と連携して集客の努力を図って参ります。

■観光事業

龍門滝、温泉、さえずりの森が観光客の憩いと自然とのふれあいの場として定着するよう推進し、親しみのもてる観光地づくりに努力して参ります。

▼簡素で効率的な行政財政体制を確立

▼財務会計処理システムへ移行する調査研究の年

■町総合振興計画

平成十三年度までの計画期間であることから、次期総合振興計画を十二年度、十三年度の継続事業として策定いたします。

■行政改革の一環

事務処理の効率化、住民サービスの向上の観点から、伝票会

計方式から財務会計処理システムへ移行する調査・研究の年とし後年度導入をする予定であります。

■公債費負担対策

公債費負担の軽減を図るために、平成十二年の臨時特例措置として借換措置が講じられま

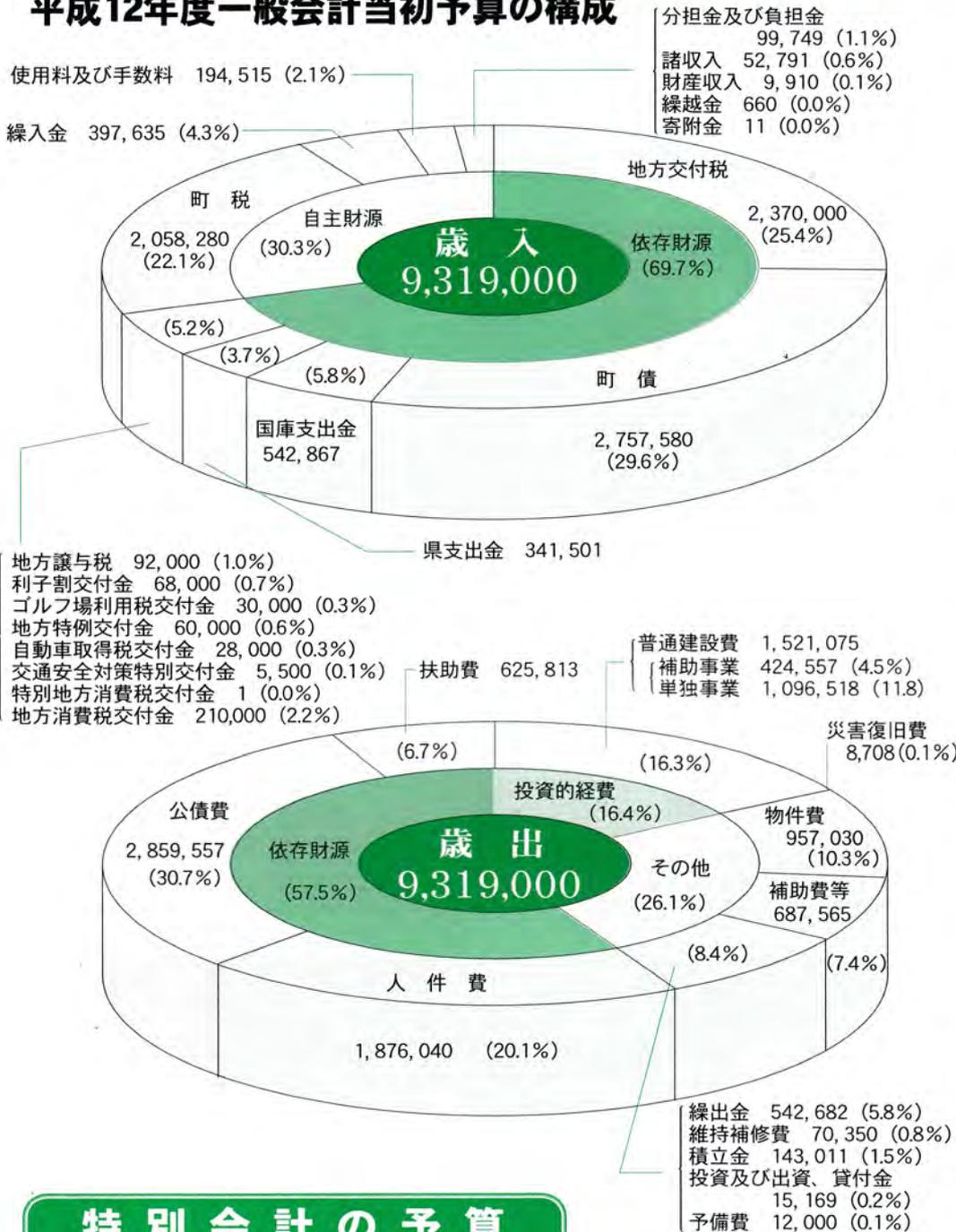
■広域行政の推進

現在、塵芥、し尿、火葬、消防、救急、最近では介護保険についてそれぞれ一部事務組合で

すので負担軽減に資するほか、特別交付税措置の対象にも該当しますので最大限活用してまいります。

まちづくりに使われる町の予算

平成12年度一般会計当初予算の構成



実施中であります。地方分権一括法において市町村合併特例法が改正され、合併推進のための補助金制度の創設や合併パターンを含む合併推進要綱が示されるやに聞いておりますが、単に効率性からのメリ

ット、デメリットだけでなく、地域の将来展望、税財源の見通し、広域行政やネットワークシステムの普及などによる事務処理体制の再編などについて将来を見据えた分析、検討をすることが必要であると考えます。

■職員の資質向上
地方分権の推進、権限委譲により、自己決定、自己責任の原則の確立が急務となってきましたので、法制事務能力の形成等も含め研修を深めて参ります。以上、平成十二年度の町政を

推進するに当たり、基本方針を述べましたが、平成十二年度の一般会計予算は九十三億千九百万円で、平成十一年度当初予算に比較いたしまして十九・七%の増となっております。厳しい財政事情ではございま

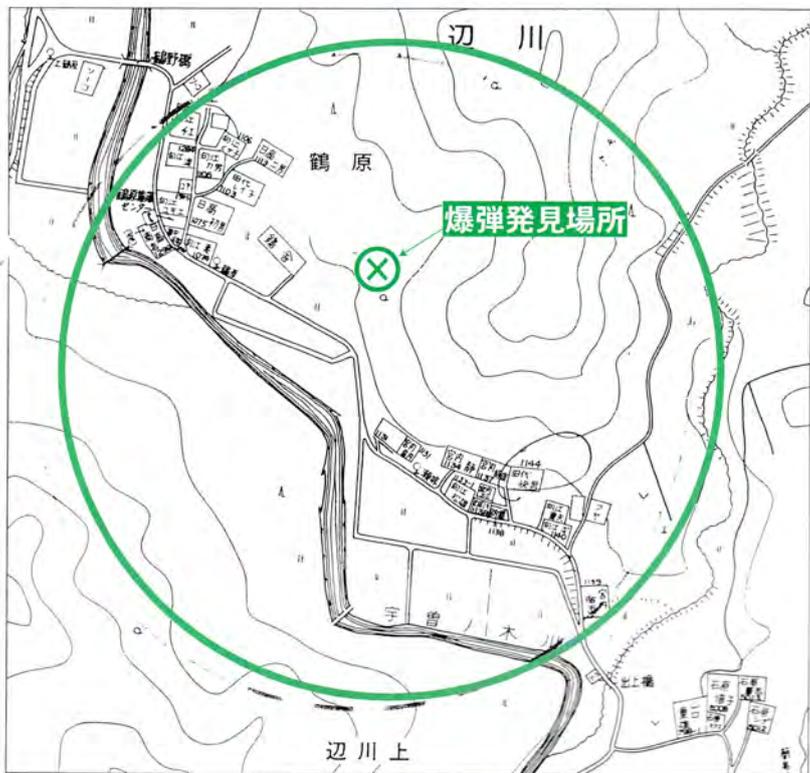
すが、職員と一体となって町民の福祉の向上と住みよい町づくりを目指して、精一杯頑張る決意でございますので、全町民の方々のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

特別会計の予算

会計名	予算額
簡易水道事業特別会計	3億4579万7000円
地域下水処理事業特別会計	3240万2000円
国民健康保険特別会計	18億6737万0000円
老人保健医療特別会計	26億6744万9000円
介護保険特別会計	10億8024万6000円
農林業労働者災害共済事業特別会計	143万1000円

弾見つかる 避難者たち

辺川 (鶴原地区)



爆弾発見場所と避難命令が出た区域

三月八日午前九時三十分頃、鶴原自治会（辺川地区）の県道伊集院・蒲生・溝辺線の新竹山二号橋工事現場で見つかった、アメリカ製の時限式信管を備えた二百五十キロの不発弾は十七日、同現場で信管の取り外し作業が行われ、十一時十分、信管の抜き取りに成功。爆発の恐れがなくなったため、十三時、避難勧告を解除。同日午後、さえずりの森や親戚の家に身を寄せていた避難者達は九日ぶりに我が家に帰り、安堵の表情を見せていました。

ドキュメント

▼3月8日（水）午前9時30分
辺川地区の県道工事現場で、深さ約五メートルの斜面地中から、不発弾が発見される。



れた信管は最短で一時間後、最長で百四十四時間後に爆発するおそれがあることが判明。応急処置として一旦不発弾を埋めもどし対応を検討することに。

■午後6時

川野町長を本部長に役場に不発弾処理対策本部を設置。

■午後7時

町長が鶴原地区区民に対して発見当時の現状等を説明。爆風と破片が飛び散るおそれのある半径三百メートル以内の住民十八世帯四十四人に対して、十七日の夕方まで避難するよう命令を出す。

■午後9時

自家用車や役場のバスで、さえずりの森に避難者が移動。七つのパンガローヤコテージに十三世帯三十二人が避難し、不安な第一夜を迎える。

▼3月9日（木）

単人町にあるJAあいらの家畜市場に牛四十頭を、さえずりの森にはさつま鶏を移動。町から避難者に対して三食の弁当が配られることに。

■午後
自衛隊の不発弾処理班が調査したところ、不発弾は直径三十四センチ、長さ百二十四センチの円筒形で時限式信管を備えたアメリカ製の二百五十キロ爆弾とわかる。発見時に重機で動かされていたため、取り付けら

アメリカ製 250キロ爆 不自由な9日間を過ごした

▼3月11日(土)午後
小山田活性化グループのボランティア団体により、三食の焼き出しが同日昼食から始まり避難者を励ます。



心のこもった食事で避難者を励ますボランティア団体

▼3月12日(日)午前10時
各世帯一人を立入禁止区域内に三十分間立ち入らせる特別処置。戸締りを確認したり、鶏に餌や水を与え一安心。
▼3月16日(木)処理前日午後
佐賀県の陸上自衛隊不発弾処理班一行が現地入りし、十七日の処理作業に向けて準備作業に入る。

一方、役場会議室では役場、

自衛隊、警察、県土木、工事関係者らに、自衛隊から十七日の作業手順について説明が行われる。各機関は互いに当日の作業分担について確認をする。



役場で処理当日の打ち合わせが行われる



にわ鶏のエサを持ち自宅へ急ぐ

▼3月17日(金)午前8時
発見現場から約三百メートル離れたところの、辺川上地区多目的研修集会所(旧鎮守小学校)に不発弾処理現地対策本部が設置される。

■10時

五人の不発弾処理班が信管の抜き取り作業を開始する。
■11時10分
無事時限式信管の抜き取りに成功する。

■11時25分
対策本部の川野町長らが現場に入り安全を確認する。
■12時30分
不発弾を撤去し、自衛隊車に積込む作業が完了する。



このバリケードは10日ぶりに解除された

■13時
避難命令を解除。不発弾処理現地対策本部を解散。

■14時
避難者は九日ぶりに自宅にも

どる。

▼3月18日(土)9時30分
JAなどに避難させていた家畜を自宅に移動させる。



9日ぶりに自宅へもどった住民

■13時
家畜移動が完了する。

鶏百羽余りを残し二世帯八人で避難した日高深さん(51歳)は「避難所では町やボランティアの方々にとってもよくしてもらいました。今日からはゆっくり自分の枕で眠れます」と安心した様子で語ってくれました。

「学習室」4月3日(月)から 利用開始

今まで諏訪町の天神公園近くにありました図書館（学習室）が、柁城小学校横の町立図書館内の施設に移転しました。

★開館時間は午前9時～午後5時まで ★休館日は日曜日と祝日
 問い合わせ先 町立図書館 ☎62-2605

今までと同様、たくさんの方々のご利用をお待ちしております。



看板も取りつけられた学習室入口



和風の室内

「椋鳩十文学記念館は」

平成12年

4月から

毎週月曜日を休館日といたします。

- 月曜日が祝日の場合は翌日
- 12月28日～1月4日は年末年始の休館になります



★開館時間は

午前9時～午後5時まで
 (入館は午後4時30分まで)

問い合わせ先

椋鳩十文学記念館

☎62-4800

ロックから三味線まで 多彩な芸を披露

56 団体 750 の人が熱演 加音フェスタ

加治木ロータリークラブなどが主催し、かねて発表の場が少ない人たちに大舞台で演じてもらう「加音フェスタ」が三月四・五日の両日、加音ホールで開かれました。今回は、これまで最高の五十四団体延べ七百五十人が出演。大観衆が見守る中、かねての練習の成果を披露しました。

初日の大ホールでは、日舞を中心に、三味線、剣舞、フラダンス、カラオケなど多彩な三十四団体が出演。華やかな衣装を身につけ、プロ顔負けの演技で舞台狭しと演じていました。

二日目は、劇団「虹」の公演があり、午後は楽しい音楽会。加治木フィルハーモニーや加音オーケストラ、あすなるハイモニカメイトなど九団体が出演。童謡や映画音楽、クラシックの名曲など、おなじみの曲を素晴らしい演奏で聴かせてくれました。

一方、小ホールでは、ヤングフェスティバルが開かれ、五つのバンドが出演。ロックのリズムに乗り若さあふれる演奏が繰り広げられました。二日目はこどもフェスタ。歌や人形劇、マジックショーで子どもたちが楽しんでいました。

二日ともほぼ満員の入りで、次々に発表される演し物に、詰めかけた観客から惜しみない拍手が贈られていました。



自信をもって堂々と発表

合唱、無踊、詩吟、民謡、ダンスなど

老連芸能大会

町老人クラブ連合会（大吉操会長36単老）主催の第22回加治木町老連芸能大会が3月11日、加音ホールで開かれました。グループや単老などで練習を積み重ねてきた145人が舞踊や民謡など素晴らしい演技を大舞台で披露しました。

開会に先立ち、大吉操会長が「これからはすべてに目的意識を持って生きて欲しい。今日の出演者たちは、自信とほこりを持って発表しますので御声援ください」とあいさつ。

今回の演し物は舞踊が大多数で16団体が個人やグループで出演しました。きれいに化粧を施し、色鮮やかな和服に身を包んだ出演者たちは、7色のライトをあび堂々と熱演。詰めかけた600人余りの観客は、熱演する出演者たちにおしめない拍手を贈っていました。



高齢者に働く機会を

4月1日から業務開始



事務局長の
池田四郎氏



理事長の
永山里志氏

加治木町シルバー人材センターの設立総会が三月二十三日、会員や町関係者など百七十人余りが出席し、加音ホールで開かれました。総会では、定款や正会員規約、就業規約などを制定する件や、平成十二年度の会員目標数を百二十人以上、配分金収入を千二百万円以上とするなどの事業計画案を原案のとおり承認。また、理事長に町助役の永山里志氏を、常任理事（事務局長）に池田四郎氏を選任しました。

四月一日現在、百五十三人の会員が登録されております。

「健康で働く意欲のある会員を募集」

1. 一般的業務内容は

一般事務、経理事務、教師、筆書、自動車運転、大工、剪定、管理（公園・駐車場等）、外交、介護、看板、調理、屋外の軽作業、農林業等。上記以外のものでもご相談ください。

2. 仕事を依頼するには

まず、お電話ください。係がお伺いして、細部について打合せさせていただきます。

3. シルバー人材センターへの入会申込みは

入会申込書兼会員票に必要事項を記入押印のうえ、写真（30×25ミリ）を二枚添えて提出してください。

シルバー人材センター事務局は役場企画課から

加治木町本町三百八十番地
商工会館西隣り

ふれあいセンター二階に

移転しました。

TEL 62-0051

優良賞に

加治木町農産加工有限会社

加治木町農産加工(有)の活動が「地域を活性化させた女性起業活動」として認められ、三月二日、東京で開催された「田園生活ワークショップ・支えあうくらしと農を育む全国フォーラム」の中で代表の森木カズ子さんに優良賞が手渡されました。

同社は、地域で収穫される人参でジュースやジャム、ドレッシング等を町の特産品として開

発、平成十年には有限会社として法人化するなど、地域の特性を生かした新事業に積極的に取り組むなどの輝かしい実績が認められたものです。

森木さんは「十年間、楽しい時も苦しい時も一緒に頑張ってきたグループの全員でこの賞を戴いたものと思っています。賞を励みにこれからも頑張りたい」と話していました。



町長に報告する会員たち

農村女性の地位向上に貢献 生活改善功労者に

東 ミツ子さん

られました。これからも益々のご活躍をお祈り致します。



これからもよろしく
お願いします

加治木農業改良普及所管内の生活改善グループの総会と三十九周年式典が三月十五日、始良町の中央公民館で開かれ、永原の東ミツ子さんに生活改善功労彰が贈られました。

東さんは、町生活改善グループの初代会長や、昭和五十七年から六十三年まで生活改善センターの管理人として、また農産物の加工指導等にも尽力してこ

チンチンカッカの 田舎劇奉納 女子中学生が初参加 永原地区 伝統芸能 トド・ドケイ

永原地区に伝わる「トド(田踊り)・ドケイ(道化)」が三月十二日、同地区の鎮守神社に奉納されました。今年トド踊りに加中三年の隈元満代さんと内村知佳さん、それに昨年から参加している永小三年の向江陸君に加え加世田直樹君も初参加。四人は短い練習期間にもかかわらず、大人に混じって勇壮な踊りを披露してくれました。

トドは、カマとナギナタを組み合わせ二人一組で二列になって踊るもので、小・中学生が参加し、勇壮に踊りました。ドケイは、兄弟の仇討ちを題材にした田舎劇で、狂言の一種と伝えられています。さむらい装束に化粧をした五人組が三味線、拍子木、鉦の「チンチンカッカ」の独特のリズムののってゆつくりと演ずると、見物客から大きな拍手がおくられています。

隈元純夫自治会長は「女子中学生が初めて踊ってくれました。後継者の一人として今後毎年踊ってほしいものです」と話していました。



地域にとけこみ愛される交番に



モダンな建物の加治木中央交番

TEL
63-
3670

後、加治木町全域を管轄し、八人の署員が交代で二十四時間、地域住民の安全を見守ってくれます。何かお困りな事等がありましたらお気軽にご相談ください。

木田本通り線沿いの実窓寺公園南隣に、昨年九月から建設中だった「加治木警察署加治木中央交番」が完成し、三月七日から業務を開始しました。

伴い、木田地区に移転新築されたもので、ホタルの里をイメージした建物は赤や黄色をワンポイントに使った鉄筋コンクリート平屋造りで百四〇㎡。駐車スペースもゆったり確保された敷地は五百㎡、総工費は約三千万円。

気軽に立ち寄り下さい
「ホタルの里」をイメージした
加治木中央交番が完成

勇壮さと美麗さを競う

厚生大臣賞に戒孝さん

薩摩鶏品評会

りりしい姿のさつま鶏

公正な審査風景



第二十五回薩摩鶏品評会が三月二十日、役場グラウンドで開かれました。国の天然記念物に指定されている薩摩鶏の純粋種保存に取り組んでいる日本薩摩鶏保存会が主催したもので、国

分、蒲生、始良地区の三十七人から八十七つがいが出品され美しさなどを競いました。審査員が黒色種や白・赤笹種など六種類の薩摩鶏を一羽ずつ手にとり、羽色や体型、とさかの形などを総合的に審査した結果、特別賞の厚生大臣賞に木田の戒孝さんが選ばれました。

★その他の結果(町内関係分)
 ■奈良県若草日本鶏研究会会長賞 戒孝
 ■全国日本鶏研究会奈良県支部長賞 野間一美 ■赤笹成鶏一等 戒孝 ▼同二等 赤笹若鳥二等 野間一美 ▼同三等 石川勝光 ■総黒種若成二等 米盛逸男 ▼同三等 脇正則

町内でも知らないことがいっぱい



最後の問題を解く参加者たち

ニューゲームで さわやかな汗 ウォークラリー大会

「第五回わくわくウォークラリー大会」が三月十二日、役場体育館前をスタート・ゴール地点として行われ、ゲームに挑戦したり、問題を解いたりしながら春の一日を楽しみました。

これは、主催者の用意したコマ図（交差点や分岐点ごとに）に進む方向などを図で表した連続図）をもとに、チェックポイントで問題を解いたり、ゲームに挑戦、得点や所要時間などの合計点を競う野外活動です。小学生、ファミリー、一般の部に三十一チーム（九十八人）が参加し、さわやかな汗を流していました。

- ★成績は次のとおり
- 小学生の部▼優勝 ばーふえくと（大野彩・中渡瀬葵・敵地里奈・白石唯）
- ★ファミリーの部▼優勝 今村（前田祐治郎・坂口幸佑・西尊世・今村拓未・中島功詞）
- ★一般の部▼優勝 すみれA（金丸初子）

三月三日は「耳の日」。耳や言葉の不自由な方々に利用してもらって下さいと三月六日、「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便（フアクシミリ送信用紙）」各百五冊が井尻文夫NTT加治木営業支店長から川野町長に手渡されました。

これは、NTT各支店が「テレコミュニケーションによる福祉サービス」の一環として昭和五十八年から毎年実施しているもので今年で十七回目。この手帳には、「わたしは耳

や言葉が不自由です」の書き出しで、「私のかわりに電話をかけていただけませんか」とか「急病です・・・」「火事です・・・」「病院へ連絡していただけますか」など、緊急用件やお願い事などを一冊の手帳にまとめたものです。

この手帳を差し出された時には、代わって電話をかけてあげるなど御協力をお願いします。*役場の住民課、保健センターの窓口においてあります。

電話 お願いの手帳を 寄贈

NTT加治木営業支店



ありがとうございます

寄稿 県下一周駅伝

私たちも頑張りました 公民館婦人部



おそろいのハッピーで 2002年

早春の薩摩路を一本のタスキでつなぐ、県下一周駅伝競走大会の二月二十三日、私たち公民館婦人部員十八人は、最終日の第九中継所になっている性心寺で、選手たちのお世話や湯茶の接待など日ごろのチームワークの良さを発揮しました。毎年恒例になっている豚汁と加治木饅頭は、中継所を訪れる役員や選手、応援の方々の楽しみの一つになっています。皆様にご喜ばれ、私たちも直に駅伝の熱気にふれ、感動を味わうことができた貴重な一日でした。 熊元一榮

もっと気軽にサッカーを
フェスティバル開催

だれでも自由に参加できるサッカーを目指した、加治木町サッカーフェスティバルが小春日の三月二十日、町営運動場で開催されました。小・中・高・



一般まで十七チーム延べ三百人余りが参加、ゲームを通じて互いの交流を深めました。これは、町サッカー協会と町体育協会が主催したもので、サッカー人口の底辺拡大とチーム間の交流を深めてもらおうと開いたもので、今回が初めて。

中学生が保護者後援会チームと対戦する組み合わせもあり、保護者らは「技」でなく得意な「アゴ」で対戦、コート走り回り息を切らしていました。

大会実行委員長の池ノ上健二さんは「雨が降ってもプレーできるコートが欲しい。フェスティバルを通じてサッカー人口が少しでも増えてくれればいいのですが」と話していました。



5月1日から31日までは
「春の農作業安全運動月間」です。

- 1 ゆとりをもって無理のない作業をしましょう。
 - 2 機械の点検・整備と、作業場所の点検を行った上で、作業を始めましょう。
 - 3 ほ場への出入りや、ほ場の段差に十分注意して、機械の転落や転倒事故を防ぎましょう。
 - 4 一般道路を走行する際は、他の車両に十分注意しましょう。
 - 5 農作業中の災害に備え、労災保険等に加入しましょう。
- ★「安全点検怠らず 毎日愉快に農作業」
- 問い合わせ先 役場 経済課
☎ 62-2111 内線161

身体障害者等に対する
自動車税・自動車取得税の
減免について

県では、身体障害者・精神障害者が所有する自動車について、次の一定の要件に該当する場合は、自動車税を減免しています。

★身体障害者本人が日常生活用として運転する場合。

★生計同一者が、身体障害者または、精神障害者の通院や通学、通所等の専用で運転する場合。

★普段介護する方が、単身で生活する身体障害者等の通院や通所等のために運転する場合など。

問い合わせ先
県自動車税管理事務所
☎ 099-261-5611
加治木総務事務所
☎ 0995-63-3111

海でのもしもは118番 (5月1日から導入)



海上保安庁への緊急通報用電話番号のお知らせ

これまで海上の事件・事故については、警察の110番や消防の119番のように容易に通報できる電話番号がありませんでした。このため局番なしの3桁番号「118番」を、5月1日から導入することになりました。「118番」は海上保安庁への緊急通報用番号になります。

禁煙宣言。

まずは一日、
たばこをやめて
みよう。



喫煙による健康へのリスク

肺がんによる死亡率は非喫煙者の約5倍

こうとう
喉頭がんの死亡率は男性の場合、非喫煙者の約32倍。喉頭がんの原因のほぼ100%はタバコが原因

高血圧、高コレステロール血症の危険度は、非喫煙者の約2倍

喫煙は動脈硬化をひきおこす

女性の場合、妊娠末期の死産は非喫煙者より2~4割多い



「たばこをやめたい」「本数を減らしたい」—厚生省の調査によれば、喫煙者の約6割は、できればたばこをやめたいと考えています。健康に悪いと分かっているにもかかわらず、「一服」がやめられないのは、たばこに含まれているニコチンに強い依存性があるためです。そんなたばこの呪縛から脱するためには、禁煙を思い立ったときがチャンスです。禁煙に失敗してもともと。軽い気持ちで、まず一日だけ、たばこをやめてみませんか。



平成13年度歌会
始のお題及び詠
進歌の詠進要領
について

＊お題は

「草」

です。

詠進歌には、「草」又は「くさ」の文字が詠み込まれていればよく、「草木」、「牧草」のように「草」の入った熟語を使用しても差し支えありません。また、歌の中に「草」の字がなくても、よもぎ、すみれのように、個々の草又は草花の名が詠み込まれていれば結構です。詠進歌の詠進要領、注意事項、詠進の期間、郵便のあて先等については

役場 総務課 文書係

TEL62-2111

内線265

にお問い合わせください。

よろしく
お願いします

(新規採用者)



濱田省吾(税務課)



深野陽子(社会教育課)



島内麻衣子(住民課)



城内としの(経済課)

四月一日付役場職員の内は旧課

内は旧課

【退職者】

▼遠矢義美(工事監査課長) ▼
徳寄罔宗(住民課長) ▼榎谷勝
(税務課長補佐兼課税第一係長)

▼猪目忠義(土木課管理係)

【異動者】

▼住民課長・重昭実(税務課長)

▼都市計画課長・加治屋博(体

育保健課長) ▼耕地課長・仮屋

蘭昭(都市計画課長) ▼土木課

長・小城輝夫(企画課参事) ▼

体育保健課長・稲留義貢(土木

課長) ▼工事監査課長・神村次

郎(耕地課長) ▼税務課長・泉

宣和(企画課長) ▼企画課長・

中山修二(滞納整理組合事務局

長) ▼滞納整理組合事務局長・

今蘭敬介(社会教育課長) ▼社

会教育課長・前島利春(総務課

参事・文化会館支配人) ▼総務

課参事・文化会館支配人・上村

正和(選挙管理委員会事務局長)

▼企画課参事・行政改革・女性

政策担当・二見康洋(総務課長

補佐兼人事係長) ▼総務課長補

佐兼人事係長・岩澤健一(教育

委員会総務課長補佐) ▼教育委

員会総務課長補佐兼庶務管理係

長・神園進(経済課長補佐) ▼

経済課長補佐兼畜産係長・外園

三郎(水道課長補佐兼工務係長)

▼選挙管理委員会事務局長・福

森徳昭(保険生活課長補佐兼生

活児童係長) ▼水道課長補佐兼

業務係長・穂満利行(耕地課管

理係長) ▼保険生活課長補佐兼

生活児童係長・岩下俊男(議会

事務局庶務兼議事係長) ▼企画

課長補佐兼用地係長・前田信秋

(企画課用地係長) ▼耕地課管

理係長・蘭田英実(水道課業務

係長) ▼税務課課税第一係長・

外山浩己(税務課徴収係) ▼水

道課工務係長・川原卓郎(土木

課土木係) ▼議会事務局庶務兼

議事係長・又木祐二(水道課管

理係) ▼社会教育課文化財係長・

関一之(社会教育課社会教育係)

▼教育委員会総務課庶務係・管

理係・桃木野靖(農業委員会農

政係) ▼農業委員会農政係・西

加代子(総務課財政係) ▼総務

課財政係・児玉ひとみ(健康福

祉課予防係) ▼健康福祉課予防

係・桃木野涼子(教育委員会社

会教育課社会教育係) ▼水道課

管理係・下小牧芳文(都市計画

課住宅係) ▼都市計画課住宅係・

古江澄男(経済課農振・農耕係)

▼企画課企画係・福満尚子(住

民課住民相談窓口係) ▼教育委

員会図書館・濱田知代(教育委

員会総務課庶務・管理係) ▼保

険生活課加治木保育所・岩澤良

子(教育委員会図書館) ▼経済

課林務係・富永佳子(保険生活

課加治木保育所) ▼土木課土木

係・森木博和(都市計画課計画・

街路係) ▼都市計画課計画・街路

係・松下友多(経済課林務係)

▼税務課・岩澤正継(健康福祉

課福祉サービズ係) ▼土木課管

理係・鳥丸勝弘(健康福祉課福

祉サービズ係) ▼教育委員会共

同調理場・橋木普子(保険生活

課加治木保育所) ▼保険生活課

加治木保育所・樗木克江(教育

委員会共同調理場)

【新規採用者】

▼税務課・濱田省吾▼住民課住

民相談窓口係・島内麻衣子▼経

済課農振農耕係・城内としの▼

教育委員会社会教育課社会教育

係・深野陽子

グレイの偶作

加治木町国際交流員

皆さん、おやっとなさ～！

天気が暖かくなり、満開の桜の木が見えてきましたね。お花見パーティーをしましたでしょうか？美しい桜を見ながら、友達と食べたり飲んだりする花見は最高だと思います。しかし、私は日本に来る前にも花見を経験しました。私の大学の町であるワシントンDCに桜の木がいっぱいありますので学生時代に一緒に日本語を勉強していた仲間達と花見パーティーを開きました。しかし、花見というのはアメリカの習慣ではないので、その日、桜が咲いている公園でピクニックをしていたのは私たちだけでした！

私は最近新しい車を買って、色々なところにドライブに行ってきました。だから、ガソリンスタンドに行く回数も最近かなり増えてきました。アメリカと比べたら、値段が3倍ぐらい高いのですが日本のガソリンスタンドは、サービスがとても良いです。アメリカでは何でもセルフですから、自分でガソリンを入れて、店の中まで歩いて行って、店員にお金を払うスタイルが普通です。逆に、日本では車から一度も降りなくても済みます！店の人がガソリンを入れてくれるだけではなく、お金の受け渡しもしてくれるし、窓もふいてくれるし、ゴミや空き缶などを捨ててくれますね。私がガソリンスタンドで初めて「ゴミはありませんか」と聞かれたとき、車の中にゴミがいっぱいあったのに、あまりにもショックを受けて答えられませんでした。また、スタンドから道路へお客さんが楽に出られるように他の車を止めて、送り出しをしてくれることもびっくりしました。私の親が日本に遊びに来たとき、ガソリンスタンドのすばらしさに感動して、アメリカの友達と親戚に見せるようにビデオを録画しました。日本のガソリンスタンドは本当に楽ですね！

良いサービスをしてくれるところはガソリンスタンドだけではありません。この前、美容院に行ったとき、美容師の優しさにも感動しました。髪を洗うときに特に丁寧だと思います。「かゆいところがありませんか」と「熱くないですか」などと尋ねながら、ゆっくりと洗ってくれます。そして、髪を洗い終わったら、タオルでやさしくふいてくれて、頭のマッサージまでしてくれました。アメリカでは、高級美容室などでこういうサービスがあるかもしれませんが、一般的に、お客さん一人にかかる時間がより短いと思います。しかし、アメリカでは美容院の値段が日本よりちょっと安いと思います。値段が安いからサービスが少ないということは当然のような気もしますが、私は日本の美容院のサービスが好きです。

日本のホテルでもお客さんには色々な便利なサービスがあります。アメリカのホテルでは部屋にタオル、石鹸、シャンプーぐらいが備えてありますが、日本では、かみそり、歯ブラシ、歯磨き粉などまで準備してくれるホテルは珍しくありません。そして、寝るときの浴衣とスリッパも部屋に置いてあるから旅行にパジャマを持って行かなくてもいいですね。スーツケースに入れていく物が少ないので旅行の準備は楽です。しかし、アメリカでは、そこまで備えていないところが多いと思いますので、アメリカに旅行するときは、ちゃんとパジャマを持って行ってください！

日本では、お客さんに便利で良いサービスが様々ありますが、それが本当に必要なのでしょうか？過剰サービスではないのでしょうか？たしかに、「そこまでしなくてもいいから、値段をもうちょっと安くして！」と思う時もありますが、休みにアメリカに帰ったとき、「サービスが悪い！日本の方が良い！」と思ったりもしました。さすが日本のサービスですね。



グレイタ・ヘイル



英会話教室の皆さんと花見パーティー



がんばっています

『充実した子ども会
をめざして』

町子ども会育成連絡協議会

会長 岡山 三男

加治木町の子ども会は、九十
五の子ども会で構成され、町内
のほとんどの小・中学生が加入
しています。

区子ども会、町子連が一体とな
って、充実した子ども会活動を
進めていきたいと考えています。

この単位子ども会が、校区ご
とに集まって、五つの校区子ど
も会が構成されています。そし
て、町全体の子ども会のまとめ
役となるのが、「加治木町子ど
も会育成連絡協議会」（通称、
町子連）です。町子連では、さ
わやか青少年少女グラウンドゴル
フ大会、インリーダー研修会、
しめ縄作りの三つの事業と、育
成者の研修の場として、総会、
夏の青少年を育てる育成者のつ
どいを開催しています。

子ども会は、地域を基盤に異
年齢による様々な体験活動を通
して、子供たちの健全な育成を
図ることを目的としています。
これからも単位子ども会、校



インリーダー研修（韓国岳登山）

加治木中の生徒たちに職場体験をさせてください。

こんな職場、あんな職場を大募集します

加治木中学校進路指導係では、生徒たちが加治木の産業を学んだり、働く現場を見
ることにより、労働の意味を考え、進路選択に役立たせるために「職場体験学習」を
させることを計画しています。

賛同してくださる多くの職場を募集します。

●期 日 平成12年6月17日（土）
●時 間 午前9時から12時までの3時間程度

問い合わせ先 加治木中学校 進路指導係 TEL 63-1111

国家公務員採用Ⅰ種・Ⅱ種試験（大学程度）受験者募集

★Ⅰ種試験

【受験資格】 昭和42年4月2日から昭和54年4月1日生まれの者（特例あり）
【申込受付期間】 郵送分 4月4日から5月11日まで 持参分 5月1日から5月11日まで
【第一次試験日】 **6月11日（日）**

★Ⅱ種試験

【受験資格】 昭和42年4月2日から昭和54年4月1日生まれの者（特例あり）
【申込受付期間】 郵送分 4月4日から5月11日まで 持参分 5月1日から5月11日まで
【第一次試験日】 **7月2日（日）**

●問い合わせ先

人事院九州事務局

採用試験テレホンサービス（092-431-8173）

続 椋鳩十

椋鳩十物語

(その十三)

感動は人生の窓を開く

小学校五年生になって間もなくでした。お父さんの用事で担任の市瀬厚先生の家へ行った時でした。

「おお、よく来たな。今送ってきたばかりだ。食べるか。おいしいぞ。」

と当時としてはハイカラで珍しいお菓子を下さいました。初めて目にする菓子です。外国の匂いのするビスケットと星の形をした砂糖で出来たコンペイトウでした。彦穂少年は感激しました。学校へ行くようになって初めて一人前に扱って貰えたうえ、まだ村でも売っていないお菓子を貰ったのです。つい甘い甘い気持ちになつて

「先生、死ぬってことはどんなこと。そんな事を書いた本はないですか。」

と質問してしまいました。先生は驚かれたのでしょうか。先生は「彦穂は偉いな。そんな難しいことを考えているのか。よい好い本があるぞ」と言つて、ここにこ笑いながら、一冊の本を貸して下さいま

した。彦穂少年は家へ帰ると早速、裏の赤松林でその本を読みました。本の中に引き込まれ、時間も忘れて読むのでした。ふと目をあげると、南アルプスの山々に真つ赤な夕日がさして、顔も手も洋服も真つ赤に染まつて見えます。今読んだばかりの本の中と現実の間をさまよつていたのでした。

先生の貸してくださった本は「アルプスの少女ハイジ」と言う本です。ハイジがお爺さんについて「どうして夕焼けはきれいなのか。」

「それはな、太陽が山々にさすならのあいさつをしているしるしなんだよ。それだから美しいんだよ」

の場面に感動して目をあげた時でした。この感動で彦穂少年は変わりました。それまでのわんぱく少年にさようならしたのでした。死ぬまでこの感動が心に残り、夕焼けが宇宙一の美しい景色となつたのでした。

椋鳩十文学記念館長

久保田喬彦



川柳

恋の菓の黒川岬も昔

かな 大迫ヤエ子

猫柳わたげふくらむ春

そこに 畠中 武志

ひねもすを小鳥あそばせ藪椿

白尾 澄子

雛の間を歩き回るよランドセル

郡山マサ子

阿蘇五岳ゆつくり暮るるつくしんぼ

藤原 壽子

鶴帰る島津の東風におくられて

川畑 克己

如月や風に小さき刺のあり

高木 正男

雲雀野の母と子のほか雲もなし

脇本 星浪

節分の水行の僧湯気たてり

竹山 洋子

体力はまだありますと畑を打つ

稲恒 寧夫

田の神は確かに男蛙を焼く

恒吉 斗南

御法話にまどろむ事も日脚伸ぶ

岩田美知江

植木市足止めさせる豆絞

藤崎 文子

朝まだき蔵王樹林の初音かな

犬童 利春

生き死にのこと想ひをり下萌える

田代 俊泉

春めくや錦江湾の深き藍

新納 純雄

塾はねて臍を分かつ西東

神村 洋子

母と子に木の芽の匂ふ夕の膳

山ノ内治一

気骨の人急ぎゆかれし戻り寒

熊元 一栄

鶏頭となるか遊々卒業す

柳田 稔

古味噌を秣に風邪の牛癒えよ

川崎 黒兎

御寄付

ゴミの収集日などを掲載した平成十二年度・暮らしのカレンダーを自治会を通じて配布しました。まだ受け取っていらっしゃらない方は、役場住民課か総務課文書係で配布しておりまのでお申し出ください。



うぶ声



香典返し代わりにご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人の御めい福をお祈りいたします。()は故人

香典返しのため

出生児 保護者 自治会

大内山 涼加 浩 須崎
中園 優香 涼太 東塩入
緒方 悠太 清隆 下浜
川崎 舞衣 裕二 毛上
東 敏輝 敏郎 岩原南
上原 晃成 芳仁 須崎

福吉 賢真 修二 南塩入
市来 香菜 聡 東塩入
吉満 圭亮 真一 西塩入
小城 岳来 一浩 西江口団地
松野下 直哉 辰也 空港団地
川枝 大祐 修三 須崎
上井 竜我 義則 日木山黒川
久米田 玲奈 順二 原ノ門
春山 拓郎 清己 内原田
犬童 瑛士 晃 下東木
三嶋 キラリ 直樹 川原
江平 啓人 敏郎 西江口団地

▼3月20日までに住民台帳に記載された方を掲載いたしました。

西反土後 恒森 キヨ子 (夫 清則72)
下東木 澁谷 ナミ (夫 勲71)
日木山黒川 畠中 タマ子 (夫 衛83)
反土黒川 内村 ヨシ子 (夫 芳明66)
向江町 白尾 正光 (父 正男89)
葛蒲谷 久保田 イク (夫 榮88)
岩原東 森 フジエ (子 勇51)
明神 藤原 勝治 (伯母 マツエ81)
須崎 川原 貞孝 (叔母 ヒマ83)

岩原東 西川 利道 (義妹 坂元光代47)
端山 丸野 勲 (母 ハル101)
萩原 岩元 フミ子 (妹 鷺山ハル子85)
吉原 原口 マリ子 (夫 清憲87)
吉原 原口 マリ子 (夫 清憲87)

【二万円】
岩原東 森 フジエ (子 勇51)
明神 藤原 勝治 (伯母 マツエ81)
須崎 川原 貞孝 (叔母 ヒマ83)

【二万円】
岩原東 森 フジエ (子 勇51)
明神 藤原 勝治 (伯母 マツエ81)
須崎 川原 貞孝 (叔母 ヒマ83)

【二万円】
岩原東 森 フジエ (子 勇51)
明神 藤原 勝治 (伯母 マツエ81)
須崎 川原 貞孝 (叔母 ヒマ83)

【二万円】
岩原東 森 フジエ (子 勇51)
明神 藤原 勝治 (伯母 マツエ81)
須崎 川原 貞孝 (叔母 ヒマ83)

▼3月20日までの御寄付を掲載いたしました。(年齢は満年齢)

5 月在宅医表

3	ザ王病院	加治木町反土2151-2 ☎62-4611
4	大井病院	加治木町本町141 ☎63-2291
5	加治木温泉病院	加治木町木田4714 ☎62-0001
7	松本外科・胃腸科	加治木町木田724 ☎63-1911
14	壺岐内科	加治木町諏訪町196 ☎62-2222
21	鬼丸小児科	加治木町新生町127 ☎62-0308
28	玉利医院	加治木町本町118 ☎62-2328
※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として) ※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。		
日曜・祝日 歯科救急診療 9時~15時 郡歯科医師会館口腔保健センター 溝辺町 (☎0995-58-4388)		

始良郡眼科医5月在宅医表

3	いちぢ眼科	国分市府中 ☎47-3618
4	神村眼科	始良町脇元 ☎64-5556
5	西眼科医院	加治木町本町 ☎62-2526
7	椎原眼科医院	隼人町見次 ☎43-1050
14	田中眼科医院	始良町宮島町 ☎65-3986
21	中村眼科医院	国分市中央3丁目 ☎46-0146
28	渡辺眼科クリニック	国分市中央1丁目 ☎45-6888
※ 診療時間は、9:00~17:00です。 ※ 在宅医は往診はいたしません。 ※ 原則として緊急を要しない一般の患者はご遠慮ください。		

シリーズ
パート22

介護保険制度

陽の光がいのちの充電をしてくれるような2000年の春、介護保険制度は、スタートしました。必要なサービスが継続して受けられるよう関係者全員が努力しています。加治木町においても介護サービス事業者が、県の指定を受けて、基盤整備が整ってきました。町内の主な介護保険サービス指定事業者を紹介します。

サービス種別	事業所名	所在地	電話番号	備考
 居宅介護支援事業所 	アゼリア 居宅介護支援事業所	港町 147-2	62-3711	介護サービス 計画作成を依頼 できます。
	加治木望岳園 居宅介護支援事業センター	木田 4794-1	628715	
	加治木温泉病院 居宅介護支援事業所	木田 4714	62-3056	それぞれの事 業所の介護支 援専門員にご 相談下さい。
	加治木町 社会福祉協議会	本町 393	62-2941	
	ザ王病院 居宅介護支援事業所	反土 2151-1	62-4611	
	松下亮治内科 居宅介護支援事業所	新生町 130-1	62-5800	
	ゆり 居宅介護支援事業所	港町 146-3	63-0133	
通所介護 (デイサービス)	加治木望岳園 通所介護事業所	木田 4794-1	62-4641	デイサービス が利用できま す。
	晶貴会高井田 通所介護事業所	木田 4872-2	63-5730	
 通所リハビリ (デイケア) 	加治木温泉病院	木田 4714	62-0001	デイケアが利 用できます。 おねがいします。 まっこね
	加治木整形外科病院	港町 147-2	62-3711	
	ザ王病院	反土 2151-1	62-4611	
	松下亮治内科	新生町 130-1	62-5800	
	シルバータウン加治木	木田 4719-1	62-5755	
訪問入浴介護	加治木町社会福祉協議 会訪問入浴介護事業所	本町 393	62-2941	訪問入浴車で入 浴サービス利用

お気軽に
おたずねください。



ご相談ください。

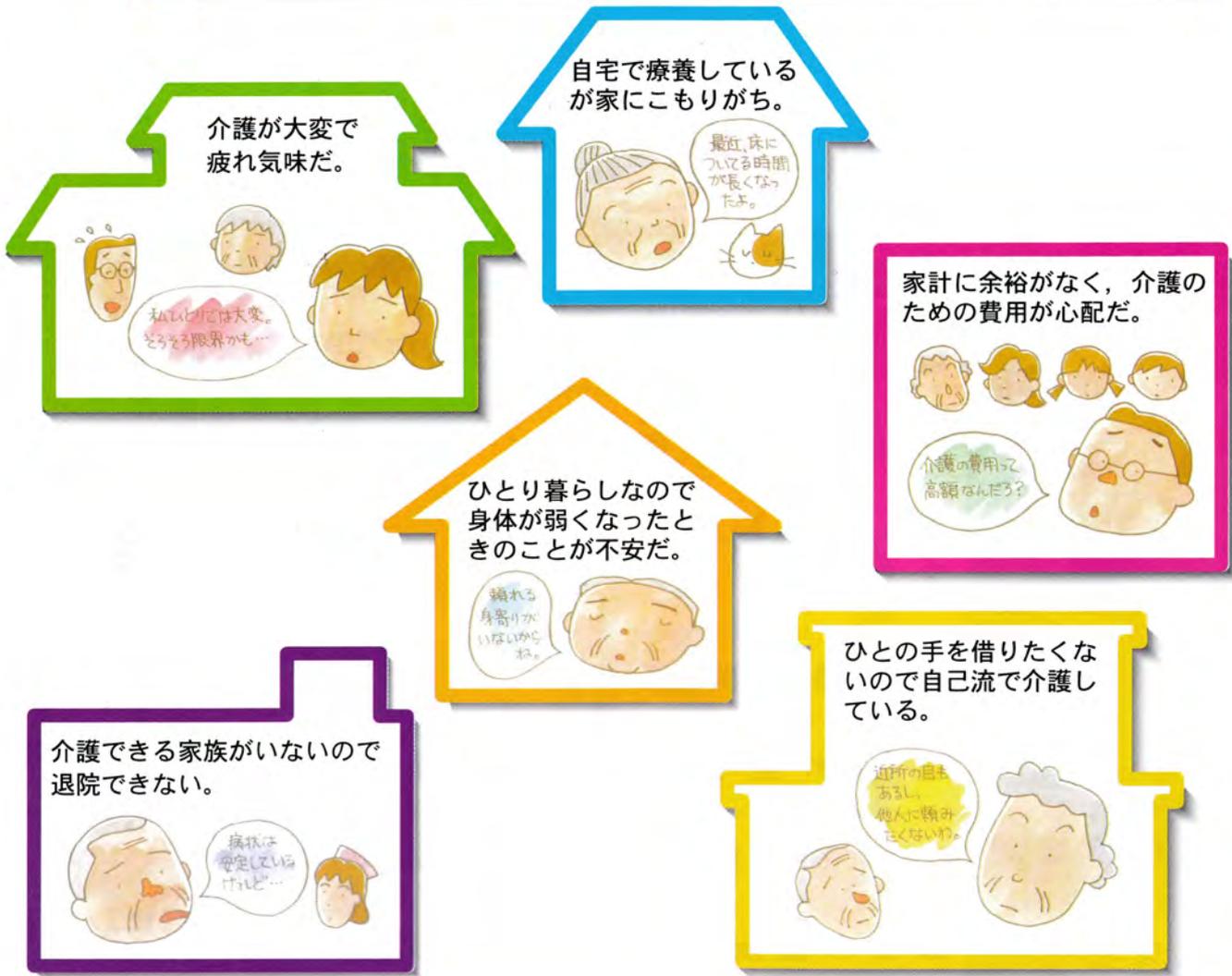


サービス種別	事業所名	所在地	電話番号	備考
訪問介護	加治木町社会福祉協議会訪問介護事業所	本 町 3 9 3	62-2941	ヘルパーサービス（身体介護・家事援助・複合型）が利用できます。
	加治木望岳園訪問介護事業所	木 田 4794-1	62-3553	
訪問看護	加治木訪問看護ステーション	港 町 147-1	62-3711	必要に応じて、訪問介護と同時に利用可能です。
	各医療機関訪問看護			各病院でご相談下さい。
介護保険施設 	加治木望岳園	木 田 4794-1	63-2145	医学的な管理の必要性などに応じた役割の違いがあります。主治医に相談して下さい。
	シルバータウン加治木	木 田 4719-1	62-5755	
	加治木温泉病院	木 田 4714	62-0001	
	ザ王病院	反 土 2151-1	62-4611	
短期入所生活介護 短期入所療養介 	加治木望岳園	木 田 4794-1	63-2145	ショートステイについては、必要に応じて、特例措置により、1か月2週間の限度を設けて利用が可能となります。介護支援専門員に相談して下さい。
	シルバータウン加治木	木 田 4719-1	62-5755	
	加治木温泉病院	木 田 4714	62-0001	
	ザ王病院	反 土 2151-1	62-4611	
痴呆対応型 共同生活介護 (グループホーム)	「いこいの里」 花いちもんめ	木 田 4888-4	62-2983	

※住宅改修や福祉用具貸与・購入については、介護支援専門員等に相談して下さい。

また、介護保険サービスについては、上記以外の町外の事業所についても利用できますので介護支援専門員等に相談して下さい。

自分や家族の健康と介護のこと
介護サービスの利用を考えましょう



介護が必要になったときのことは、誰もが不安です。けれども、一人で負担を抱え込もうとせず、家族ができること、介護サービスという公的な制度を利用することの両面から介護のしかたを考えることが大切です。

私たちの暮らしている加治木町でも、介護保険のスタートに合わせ介護サービスが整いつつあります。介護保険で利用できるサービスの他に、保健や福祉サービス、又、地域の社会資源もあります。「知らなかったから使わなかった」「わからなくて使えなかった」ということのないように、どんなサービスがあり、どのように利用できるのかを下記の機関等へ相談できます。

町内居宅介護支援事業所・介護保険施設（前ページ参照）

在宅介護支援センター加治木望岳園 電話62-3553

加治木町中央在宅介護支援センター（加治木町社会福祉協議会） 電話62-2941

加治木町役場健康福祉課 電話62-2111（内線506・505・503）